

シラバス(授業内容)

インナービューティ科 2年

アロマ&セラピスト専攻

シラバス(授業内容)

科目名	ITコミュニケーション			クラス名	Q2C	
1年単位	前期	-	後期	1 単位	1年合計単位	1 単位
2年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	2年合計単位	2 単位
担当講師	田中 みゆき					
	実務経験	有	企業研修や大学での授業経験をもとに、企業のニーズに応えられるよう指導を行う。			
目的及び概要	現代社会においてはパソコンが使えるだけでなくパソコンを活用できる能力が必要とされています。1年次で学んだ基礎技能の復習を行いながら、Word、Excel、PowerPointの応用的な機能を学習します。					
到達目標	Wordでいろいろな印刷を行うことができる。 作表スキルの習得と、データを扱うための力を身に付ける。 プレゼン資料を作成できる。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	Office2016(実教出版)					
<授業計画>	前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	お礼状の作成	Word お礼状の作成			
第2回	2	Gmail	メールの作成、送受信、返信、署名、添付ファイル			
第3回	3	Wordで表の活用しよう	Word 表を挿入したビジネス文書の作成			
第4回	4	レポート作成	Word レポートの作成、表紙の挿入、ページ番号の挿入			
第5回	5	プレゼン作成	PowerPoint 基本操作復習			
第6回	6	プレゼン作成	PowerPoint 画面切り替え効果、アニメーション効果、印刷			
第7回	7	関数を使おう	Excel オートフィル、関数、表の編集			
第8回	8	ワークシートの管理	Excel オートフィルの活用、ワークシートの管理			
第9回	9	グラフ機能	Excel グラフ機能			
第10回	10	Excelで表を作成しよう	Excel 作表まとめ			
第11回	11	袋とじ印刷	Word 袋とじ印刷			
第12回	12	はがき印刷	Word はがきの作成印刷			
第13回	13	試験対策	Word 試験対策			
第14回	14	期末試験	Word 期末試験			
第15回	15	期末試験の解説	期末試験の解説と前期の振返り			
初回持ち物	教科書(Office2016)、筆記用具					
成績評価方法	・出席率		定期試験		筆記試験	
	・定期試験や小テスト			○	実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	ITコミュニケーション			クラス名	Q2C	
1年単位	前期	-	後期	1 単位	1年合計単位	1 単位
2年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	2年合計単位	2 単位
担当講師	田中 みゆき					
	実務経験	有	企業研修や大学での授業経験をもとに、企業のニーズに応えられるよう指導を行う。			
目的及び概要	現代社会においてはパソコンが使えるだけでなくパソコンを活用できる能力が必要とされています。Word、Excel、PowerPointの応用的な機能を学習します。					
到達目標	図及び図形を活用した文書を作成することができる。 作表スキルの習得と、データを扱うための力を身に付ける。 プレゼン資料を作成できる。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	Office2016(実教出版)					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	Word 表現力のある文書の作成	Word 図と図形の挿入の復習			
第2回	2	画像の編集と加工	Word Officeのフォトタッチ機能			
第3回	3	図の挿入と図形の活用	Word 図の挿入と図形の活用			
第4回	4	PowerPoint復習	PowerPoint復習			
第5回	5	ノートの活用と印刷	PowerPoint ノートの活用と印刷			
第6回	6	プレゼン作成	PowerPoint プレゼンテーション資料の作成			
第7回	7	プレゼン作成	PowerPoint プレゼンテーション資料の作成			
第8回	8	プレゼン作成	PowerPoint プレゼンテーション資料の作成			
第9回	9	動画作成	PowerPoint フォトアルバム機能 動画作成			
第10回	10	作表とワークシートの操作	Excel オートフィルの復習、ワークシートの操作			
第11回	11	表の作成	Excel 予約表の作成			
第12回	12	差し込み印刷	Excel データベース機能 Word 差し込み印刷			
第13回	13	試験対策	Excel 試験対策			
第14回	14	期末試験	Excel 期末試験			
第15回	15	期末試験の解説	期末試験の解説			
初回持ち物	教科書、USBディスク、筆記用具					
成績評価方法	・出席率		定期試験		筆記試験	
	・定期試験や小テスト			○	実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	フレッシューズスキル			クラス名	Q2C	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	2年合計単位	2 単位
担当講師	宮崎 愛子					
	実務経験	-	老舗専門結婚式場へ勤務。新規から施行まで約400組の結婚式をプロデュース。 社会人経験で得た課題対応能力やキャリアプランニング能力を伝えていく。			
目的及び概要	1年後の就職を控え、社会人としての準備をしていく必要がある。「社会に出る前のメンタル強化」を目標にし、自身のストレスコントロール力、良好な人間関係の築き方、対人トラブルの対処法などを学ぶ。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会に出てから起こるさまざまな対人トラブルによる離職等を防ぐ</li> <li>・グループワークを通じて協調性や発信力、傾聴力を鍛える</li> <li>・様々なタイプの人間がいることを知り、それぞれに対応できる接客スキルを考える</li> </ul>					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし(適宜プリントを配布)					
<授業計画>	前期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	働くことの意味を考える	私たちはなぜ働くのか/マズローの欲求段階説			
第2回	2	アンガーマネジメント	「怒り」の感情の正体とは			
第3回	3		怒り感情のコントロール方法(自己理解)			
第4回	4		怒り感情との向き合い方・対処法(他者理解)			
第5回	5		クレーム対応/クレームの考え方			
第6回	6		そもそもストレスとは? ストレスの捉え方			
第7回	7	メンタルヘルス コントロール	ストレスの受け取り方/受け流し方を知っておこう			
第8回	8		幸せホルモンとセルフコントロール①			
第9回	9		幸せホルモンとセルフコントロール②			
第10回	10		自分だけのコーピングリストを作成しよう			
第11回	11	Highly Sensitive Personについて	Highly Sensitive Personについて(HSP・HSS診断テスト)			
第12回	12		HSS・HSPとの付き合い方、接し方①			
第13回	13		HSS・HSPとの付き合い方、接し方②			
第14回	14	試験	期末試験			
第15回	15	試験解説・まとめ	期末試験解説/FB			
初回持ち物	筆記用具					
成績評価方法	・出席率	定期試験	○		筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)	出席率	定期試験		平常点		
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	フレッシュヤーズスキル			クラス名	Q2C	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	2年合計単位	2 単位
担当講師	宮崎 愛子					
	実務経験	有	老舗専門結婚式場へ勤務。新規から施行まで約400組の結婚式をプロデュース。 社会人経験で得た課題対応能力やキャリアプランニング能力を伝えていく。			
目的及び概要	1年後の就職を控え、社会人としての準備をしていく必要がある。「社会に出る前のメンタル強化」を目標にし、自身のストレスコントロール力、良好な人間関係の築き方、対人トラブルの対処法などを学ぶ。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会に出てから起こるさまざまな対人トラブルによる離職等を防ぐ</li> <li>・グループワークを通じて協調性や発信力、傾聴力を鍛える</li> <li>・様々なタイプの人間がいることを知り、それぞれに対応できる接客スキルを考える</li> </ul>					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし(適宜プリントを配布)					
<授業計画>	前期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	社会人への意識改革	学生と社会人の違い/社会人の評価基準			
第2回	2		信用と信頼/仕事を任せてもらえる人材になるために			
第3回	3		価値基準からベネフィットの考え方を理解する			
第4回	4	成果をあげる接客テクニック	傾聴カレッジ/ベネフィットを引き出すロールプレイング①			
第5回	5		傾聴カレッジ/ベネフィットを引き出すロールプレイング②			
第6回	6		SPIN話法で具体的なアプローチを知る			
第7回	7	アサーティブコミュニケーション	アサーティブの基本/自己表現タイプと心理的ポジション①			
第8回	8		アサーティブの基本/自己表現タイプと心理的ポジション②			
第9回	9	新入社員の自己紹介	第一印象の重要性「自己紹介の目的、ルール、伝えるべきこと」①			
第10回	10		第一印象の重要性「自己紹介の目的、ルール、伝えるべきこと」②			
第11回	11		相手の心に届く自己紹介を考えよう			
第12回	12		新社会人になった気持ちで自己紹介をしてみよう			
第13回	13	2年間の総まとめ	大切な人に"ありがとう"を伝える			
第14回	14	試験	後期 期末試験			
第15回	15	試験解説・まとめ	試験解説・まとめ			
初回持ち物	筆記用具					
成績評価方法	・出席率	定期試験	○		筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)	出席率	定期試験		平常点		
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	就職ガイド			クラス名	Q2A	
1年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
2年単位	前期	1 単位	後期	-	2年合計単位	1 単位
担当講師	新山 和子					
	実務経験	-	人事教育担当として、企業の採用や学校等で就職活動についてセミナーを担当。新入社員研修の経験を活かして学生指導やサポートを行う。			
目的及び概要	就職活動に必要な知識の習得を行い実践で活かせるようにサポートします。また、社会人で必要な年間行事マナーを理解し、「働く」ことについて将来のキャリアデザインを考え、卒業後に備えます。					
到達目標	就職活動、社会人としての理解を深める					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	前期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	面接練習	就職活動進捗確認・面接練習			
第2回	2		面接練習			
第3回	3		面接練習			
第4回	4	一般常識	SPI・GAB対策			
第5回	5		適性検査・一般常識対策			
第6回	6	ディスカッション	グループディスカッション対策			
第7回	7		グループディスカッション練習			
第8回	8	社会人とは	新社会人に求められるもの			
第9回	9	ビジネスマナー	ビジネスマナーがなぜ必要か			
第10回	10	コミュニケーション	コミュニケーションの種類～ノンバーバル～			
第11回	11		コミュニケーションの種類～バーバル～			
第12回	12	サービス接遇	サービスマナー・慣用句			
第13回	13	働くことの意義	〇〇で働くことの意義			
第14回	14	期末テスト	期末テスト			
第15回	15	モチベーションコントロール	モチベーションアップから得られるもの			
初回持ち物	筆記用具・就職ファイル					
成績評価方法	・出席率		定期試験	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			実技試験		
	・授業参加意欲			○	課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	イベントプロモーション			クラス名	Q2C	
1年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
2年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
担当講師	担任					
	実務経験	-	-			
目的及び概要	学校生活や学校行事を通して、人間関係を形成し学校での集団行動やチームワークなどを深める。 協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度をこの授業育てる。					
到達目標	就職活動、社会人としての理解を深める (Q2A: 金4限/Q2C: 金5限/Q2D: 金5限/Q2E: 金4限/Q2F: 水1限)					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	前期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	クラスコミュニケーション	クラス目標/個人目標/リーダー・サブ決め/SAM選出			
第2回	2		学校生活・補講について			
第3回	3		マシュマロチャレンジ			
第4回	4	スポーツ大会	スポーツ大会(実行委員決め/競技候補)			
第5回	5	避難訓練事前指導	避難訓練について(動画視聴)			
第6回	6	スポーツ大会	競技について話し合い(クラスTシャツ)			
第7回	7		出場競技決定			
第8回	8	コミュニケーション	クラスコミュニケーション/Q2ACエスグラについて			
第9回	9	FUSに向けて	FUSについて/FUS実行委員決め			
第10回	10	学園祭	学園祭について(実行委員決め/出し物候補)			
第11回	11		学園祭について(役割決め/作成物)			
第12回	12		学園祭について(役割決め/作成物)			
第13回	13	期末試験について	休みの過ごし方/期末試験について/夏季休業中の登校について			
第14回	14	行事準備	学園祭/スポーツ大会			
第15回	15	アンケート/振り返り	学校生活アンケート/前期振り返り			
初回持ち物	AIE/ノート、筆記用具					
成績評価方法	・出席率		定期試験	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			実技試験		
	・授業参加意欲			○	課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	イベントプロモーション			クラス名	Q2C	
1年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
2年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
担当講師	担任					
	実務経験	-	-			
目的及び概要	学校生活や学校行事を通して、人間関係を形成し学校での集団行動やチームワークなどを深める。 協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度をこの授業育てる。					
到達目標	就職活動、社会人としての理解を深める					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	各目標決め	クラス目標/個人目標/リーダー・サブ決め			
第2回	2	学園祭	催し物について話し合い			
第3回	3	学園祭	企画書作成			
第4回	4	学園祭	概要決め			
第5回	5	学園祭	ルール説明			
第6回	6	FUS	演出について			
第7回	7	FUS	各クラステーマ・コンセプト決め			
第8回	8	スポーツ大会	概要説明			
第9回	9	スポーツ大会	出場競技決め			
第10回	10	スポーツ大会	ルール説明			
第11回	11	FUS	ウォーキングレッスン			
第12回	12	FUS	ウォーキングレッスン			
第13回	13	FUS	ウォーキングレッスン			
第14回	14	FUS	ウォーキングレッスン			
第15回	15	アンケート	学園生活アンケート			
初回持ち物	AIEノート、筆記用具					
成績評価方法	・出席率		定期試験	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			実技試験		
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				



シラバス(授業内容)

科目名	生理学			クラス名	Q2C	
1年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
2年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	2年合計単位	2 単位
担当講師	佐々木 圭					
	実務経験	有	スポーツトレーナーの経験を元にカラダの仕組み(解剖・運動生理学)を伝えていく。			
目的及び概要	生理学で学んだ解剖生理学・運動生理学・心身生理学の内容を復習しその3つの生理学をより深く学ぶとともに、現場でのアドバイスに使う知識を学習します。					
到達目標	AEAセンター筆記試験に合格					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	③解剖生理学					
<授業計画>	前期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	人体の成り立ち	細胞・組織・器官			
第2回	2	骨格系	骨とは・全身の骨格			
第3回	3	筋系	筋系			
第4回	4	筋系	全身の筋肉			
第5回	5	神経系	中枢神経・末梢神経			
第6回	6	神経系・消化器系	消化器系のあらし			
第7回	7	消化器系	各消化器官			
第8回	8	呼吸器系	呼吸器官			
第9回	9	循環器系	循環器官			
第10回	10	内分泌系	内分泌器官			
第11回	11	泌尿器系	泌尿器官			
第12回	12	生殖器系	生殖器官			
第13回	13	期末テスト対策	試験筆記例題集			
第14回	14	期末テスト	授業内範囲			
第15回	15	期末テスト返却	フィードバック			
初回持ち物	教科書(③解剖生理学)、筆記用具					
成績評価方法	・出席率	定期試験	○	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			実技試験		
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)	出席率	定期試験		平常点		
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	化粧品学			クラス名	Q2C	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	-	後期	1 単位	2年合計単位	1 単位
担当講師	担当職員					
	実務経験	有	理系大学で有機化学専攻後、化粧品会社・エステサロンの実務経験を経てエステサロン・化粧品会社設立			
目的及び概要	化粧品の構成成分についての知識を深めて、説明できるようになる。					
到達目標	お客様に肌の知識に加え、合う化粧品の説明をできるようになること。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書						
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	植物抽出エキス	自然成分とは			
第2回	2	界面活性剤	乳化と品質維持			
第3回	3	着色料	色材について			
第4回	4	その他の成分	粘度調整、成型成分			
第5回	5	薬剤①	効果の認められる成分			
第6回	6	薬剤②	特定の効果成分と配合			
第7回	7	問題で演習	テスト対策			
第8回	8	問題集演習	テスト対策			
第9回	9	問題で演習	テスト対策			
第10回	10	販売練習	ケースバイスタディ			
第11回	11	販売練習	ケースバイスタディ			
第12回	12	デモンストレーション	専門用語を使わない基礎化粧品説明			
第13回	13	デモンストレーション	品数多く購入するトーク&メイク用品演習			
第14回	14	期末テスト	期末テスト			
第15回	15	返却	化粧品学まとめ			
初回持ち物	ノート、教科書(化粧品学)					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	サロンマネジメント&法規			クラス名	Q2C	
1年単位	前期	1 単位	後期	-	1年合計単位	1 単位
2年単位	前期	-	後期	-	2年合計単位	-
担当講師	吉田 里子					
	実務経験	有	理系大学で有機化学専攻後、化粧品会社・エステサロンの実務経験を経てエステサロン・化粧品会社設立			
目的及び概要	会社の経営と接客方針に対して学び、法律を理解すること					
到達目標	社会の常識と法律を学ぶことで、接客業で生かせるようにすることと、検定も合格すること					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	⑧サロンマネジメント&法規					
<授業計画>	前期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	サロンの経営とは	業界の役割			
第2回	2	やりがいのある仕事とは	美容の業務・内容			
第3回	3	サロン業務	クレーム対応とサービス業			
第4回	4	能力評価	経営者と雇用される側			
第5回	5	業界の成長	業界の発展・問題集			
第6回	6	法律関連の話	関連法規とは何か			
第7回	7	施術に関する法律	施術・化粧品・食品に関する法律			
第8回	8	契約と民法	消費者基本法・契約法			
第9回	9	特定商取引とは	特定商取引とは			
第10回	10	分割払いとクレジット	分割について・支払方法・キャッシュレス			
第11回	11	個人情報保護法	会社の守るべきもの&個人のSNS運用			
第12回	12	自主基準とは	国家資格でない法律の基準について			
第13回	13	問題集	テスト対策			
第14回	14	テスト	期末テスト			
第15回	15	返却	解説とまとめ			
初回持ち物	筆記用具					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	電気機器学&脱毛学			クラス名	Q2C	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	1単位	後期	-	2年合計単位	1単位
担当講師	吉田 里子					
	実務経験	有	理系大学で有機化学専攻後、化粧品会社・エステサロンの実務経験を経てエステサロン・化粧品会社設立			
目的及び概要	電気に関して理解することで、美容機械に対する知識を深める。					
到達目標	機械の使用の原理を理解し、検定試験の問題を習得すること					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	⑦電気学と⑩脱毛学					
<授業計画>	前期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	電気学とは	電気機器学とは			
第2回	2	エステティック機器	施術用機器			
第3回	3	電気の原理	電気の基礎知識			
第4回	4	身体と電気の関係	エステ利用の電気について			
第5回	5	問題集	センター試験の問題			
第6回	6	脱毛学について	脱毛の歴史			
第7回	7	脱毛学概論	脱毛法の分類			
第8回	8	毛髪概論	毛とホルモン			
第9回	9	病気と脱毛	血液感染など			
第10回	10	衛生管理	衛生管理・滅菌・消毒			
第11回	11	カウンセリング	カウンセリングの盲点と要点			
第12回	12	ワックス脱毛	施術方法の分類			
第13回	13	問題集	センター試験の問題			
第14回	14	テスト	期末テスト			
第15回	15	返却	解説			
初回持ち物	教科書(⑦電気機器学)					
成績評価方法	・出席率	定期試験	○	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			実技試験		
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	エステ資格取得対策			クラス名	Q2C	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	-	後期	1 単位	2年合計単位	1 単位
担当講師	担当職員					
	実務経験	有	理論や実技で学んだ内容を振り返り、サロンで必要となる知識も含めながら、検定合格を目指す。			
目的及び概要	この授業の目的はセンター筆記試験「合格」を目的とした授業です。認定エステティシヤンの資格を取得する事で自身が活躍できる幅を広げることができます。エステティシヤンとして技術だけではなく基礎知識を持っていることも条件となります。 【進め方】定められた範囲の自習(15分)/20問程度のミニ模試(20分)/解説(15分)					
到達目標	AEA認定エステティシヤンセンター筆記試験合格 ※試験の日程に合わせて授業の変動有り 放課後に補講を行います。 合格点が取れるまで帰れません。合格点は80点					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書						
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	勉強と小テスト	エステティック概論、心身生理学 範囲全て			
第2回	2		皮膚科学 範囲全て			
第3回	3		解剖生理学範囲全て			
第4回	4	70問確認模試①	皮膚科学、解剖生理学 全範囲			
第5回	5	勉強と小テスト	栄養学 範囲全て			
第6回	6		関連法規、救急法、衛生消毒			
第7回	7		化粧品学、電気・機器学			
第8回	8		運動生理学・カウセリング・マネジメント			
第9回	9		フェイシャル実技理論・ボディ実技理論・ワックス脱毛			
第10回	10	100模擬試験	全範囲			
第11回	11	100問模試※期末試験1/15授業内	全範囲			
第12回	12	100模擬試験(放課後補講)	全範囲 ※合格点取れるまで帰れません			
第13回	13	模擬試験(放課後補講)	全範囲 ※合格点取れるまで帰れません			
第14回	14					
第15回	15	検定本番	センター筆記試験本番			
初回持ち物	筆記用具、B5ノート、例題集、エステティック概論・心身生理学教科書					
成績評価方法	・出席率	定期試験	○		筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)	出席率	定期試験		平常点		
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	薬膳入門			クラス名	Q2C	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	-	後期	1 単位	2年合計単位	1 単位
担当講師	小林 優子					
	実務経験	有	セルフケア上手になるための日常に密着した薬膳を得意とし、薬膳料理教室での経験をもとに、日々の食事と生活で体調を整える薬膳をお伝えします。			
目的及び概要	薬膳は、カラダの中から整えて、キレイに、元気になれるもの。カラダの中からのケア、毎日の食事、生活を整えることが、カラダとココロの美人、インナービューティーへの近道です。キレイになり、元気になり、自分に自身を持つことが、周りの人をキレイにすることにつながります。そのための薬膳です。					
到達目標	自分の体調や体質を知る事、そしてそれに合わせた食事や生活の工夫ができる力を身につけ、自分の体調を整えることを目標とします。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	薬膳概論①	気血水復習			
第2回	2	薬膳概論②	五臓復習			
第3回	3	薬膳概論③	自分の体質チェック			
第4回	4	体質別薬膳①	体質別の薬膳とレシピ作り			
第5回	5	体質別薬膳②	体質別の薬膳とレシピ作り			
第6回	6	体質別薬膳③	体質別の薬膳とレシピ作り			
第7回	7	体質別薬膳④	体質別の薬膳とレシピ作り			
第8回	8	体質別薬膳⑤	体質別の薬膳とレシピ作り			
第9回	9	体質別薬膳⑥	月経痛の薬膳			
第10回	10	体質別薬膳⑦	月経周期の薬膳			
第11回	11	体質別薬膳⑧	美髪の薬膳			
第12回	12	プレゼンテーション①	プレゼン			
第13回	13	プレゼンテーション②・試験対策				
第14回	14	最終試験	最終試験を行います			
第15回	15	振り返り	試験フィードバックと実習			
初回持ち物	なし					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	エステティックボディ実技			クラス名	Q2C	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	3単位	後期	-	2年合計単位	3単位
担当講師	大内 博子・菊谷未歩					
	実務経験	有	エステサロンでの経験からサロンでのニーズに即した対応力、マナー等を伝え、ボディ技術を習得する。			
目的及び概要	センター試験合格に向けて、ボディの全身マッサージの技術を習得し、悩みに合わせたアドバイスや施術が出来るよう知識、技術を身に付けていきます。 センターボディ実技試験の合格を目指します。					
到達目標	AEA認定エステティシャンボディ資格の取得・ボディ機器やWAX脱毛についてを学ぶ					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	前期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1-3	背中マッサージ	背中マッサージデモ・練習			
第2回	4-6	背面練習	脚背面・背中マッサージ手順チェック			
第3回	7-9	コンサル・表面	コンサル・表面練習			
第4回	10-12	コンサル・口頭試問・背面	コンサル・口頭試問・背面			
第5回	13-15	流れ練習	コンサル・全身練習			
第6回	16-18		口頭試問・全身練習			
第7回	19-21		コンサルor口頭試問・全身練習			
第8回	22-24	期末&模擬	期末&模擬テスト①			
第9回	25-27		期末&模擬テスト②			
第10回	28-30	本番	センター試験本番①			
第11回	31-33		センター試験本番②			
第12回	34-36	ボディ機器	ボディ機器+マッサージ・モデルに合わせたプランニング			
第13回	37-39					
第14回	40-42					
第15回	43-45	WAX脱毛	WAX脱毛			
初回持ち物	<input type="checkbox"/> 筆記用具 <input type="checkbox"/> メモ帳 <input type="checkbox"/> ローブ <input type="checkbox"/> シート <input type="checkbox"/> タオル7枚(うち1本HOTタオル) <input type="checkbox"/> タイマー <input type="checkbox"/> ビニール袋 <input type="checkbox"/> 実技ファイル <input type="checkbox"/> タオルハンカチ又はハンドタオル <input type="checkbox"/> キャミソールとくつ下 ※着用してくること					
成績評価方法	・出席率		定期試験	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			○ 実技試験		
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	スパトリートメント			クラス名	Q2C	
1年単位	前期	-	後期	4単位	1年合計単位	4単位
2年単位	前期	4単位	後期	4単位	2年合計単位	8単位
担当講師	鮎川 静菜					
	実務経験	有	現在までのサロン経験を元に、お客様に合ったさまざまな施術や対応を伝え習得していく。			
目的及び概要	ロミロミの全面・アロマトリートメント・タイ古式マッサージなどより深い技術まで学んでいきます。また、ホットストーンやかつさなど応用となる技術も習得し、お客様に合わせたコースを提案できるように学習します。					
到達目標	様々な技術の体感や実践を通してそのお客様の身体やお肌に合ったコースのプランニングが立てられるようにすること。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	前期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1-4	オリエンテーション / ロミロミデモ	授業説明 / ロミロミデモ(表脚) / 技術練習			
第2回	5-8	ロミロミ技術練習/オプション練習	足湯 / ロミロミ練習(脚表メイン)			
第3回	9-12		かつさ / ロミロミ練習(脚表メイン)			
第4回	13-16		ホットストーン / ロミロミ練習(全身)			
第5回	17-20		アロマトリートメント(背中デモストレーション)/技術練習			
第6回	21-24	アロマトリートメント(背中)技術練習				
第7回	25-28	サロン運営に向けて技術向上	アロマトリートメント(背中)技術練習			
第8回	29-32	ロミロミデモ(表面)	アロマトリートメント(背中)技術練習			
第9回	33-36	ロミロミ技術練習/オプション練習	アロマトリートメント(脚背面)技術練習			
第10回	37-40		アロマトリートメント(脚背面)技術練習			
第11回	41-44		アロマトリートメント(脚背面)技術練習			
第12回	45-48	期末試験対策	アロマトリートメント(背面通し)技術練習			
第13回	49-52		アロマトリートメント(背面通し)技術練習			
第14回	53-56		期末試験練習			
第15回	57-60	期末試験	期末試験(アロマトリートメント)			
初回持ち物	実技ファイル、メモ帳、筆記用具、タイマー、ハンカチ、ビニール袋 シーツ、ロープ、タオル5枚、ホットタオル4本 ※ギャルソン、パレオ、髪型:お団子(お辞儀した際、髪の毛落ちてこないようにまとめる)一本縛りNG。					
成績評価方法	・出席率		定期試験	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			○ 実技試験		
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				



シラバス(授業内容)

科目名	スパトリートメント			クラス名	Q2C	
1年単位	前期	-	後期	4単位	1年合計単位	4単位
2年単位	前期	4単位	後期	4単位	2年合計単位	8単位
担当講師	鮎川 静菜					
	実務経験	有	現在までのサロン経験を元に、お客様に合ったさまざまな施術や対応を伝え習得していく。			
目的及び概要	さまざまな技術を取得します。 タイ古式マッサージやハーブボール、ヘッドマッサージなどのオプションを習得していきます。 お客様に合ったコース提案ができるように、幅広い技術を学んでいきます。					
到達目標	様々な技術の体感や実践を通してそのお客様の身体やお肌に合ったコースのプランニングが立てられるようにすること。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	後期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1-4	ロミロミ①	ロミロミ 表脚デモ→練習			
第2回	5-8	ロミロミ②	表脚中心に通し練習			
第3回	9-12	ロミロミ③	ロミロミ+ハーブボール			
第4回	13-16	ロミロミ④	オプション(ホットストーン・カップリング・アーユルヴェーダ)			
第5回	17-20	タイ古式マッサージ デモ	タイ古式マッサージ デモ①			
第6回	21-24		タイ古式マッサージ デモ②			
第7回	25-28	タイ古式マッサージ	タイ古式マッサージ 練習①			
第8回	29-32		タイ古式マッサージ 練習②			
第9回	33-36		タイ古式マッサージ 練習③			
第10回	37-40		タイ古式マッサージ 練習④			
第11回	41-44		タイ古式マッサージ 練習⑤			
第12回	45-48		タイ古式マッサージ 練習⑥			
第13回	49-52	期末試験対策	期末試験対策			
第14回	53-56	期末試験	期末試験			
第15回	57-60	お楽しみ	お楽しみ授業			
初回持ち物	【身だしなみ】:ギャルソン・お団子 【持ち物】:シーツ・ローブ・実技ファイル・ビニール袋・ハンカチ・筆記用具・タイマー・メモ帳・フェイスタオル 【事前準備】HOTタオル5枚・ロミロミができるベッドメイキング					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価	基準(右記合点)	出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	ボディリラクゼーション			クラス名	Q2C	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	3 単位	後期	3 単位	2年合計単位	6 単位
担当講師	葛巻 健太郎					
	実務経験	有	実務経験15年。現場経験をもとに就職後に通用する確かな技術と知識を身につけていただけるよう指導する。			
目的及び概要	手指を用いて「なでる」「押す」などの手法で首、肩、腰などの凝りや筋肉の硬直をほぐし、血行を良くする技術を学びます。 血行を良くすることで心と体の疲労を改善していく手技を習得しお客様に披露できる技術と知識を学んでいきます。					
到達目標	サロン運営にて、お客様に提供できる知識と技術を学んでいきます。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	前期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1-3	身体の仕組み 各部所ボディケア について	体感、歪み検査 手技技法(掌圧、叩打、はく打)			
第2回	4-6		ボディケア 腰ほぐし・臨床			
第3回	7-9		ボディケア 肩ほぐし・臨床			
第4回	10-12		ボディケア 脚ほぐし・臨床			
第5回	13-15	ボディケアについて 基本実技練習・マッサージ効果	ボディケア実技			
第6回	16-18		全身ほぐし (背中～脚まで)			
第7回	19-21		ストレッチ(肩)			
第8回	22-24		臨床			
第9回	25-27					
第10回	28-30					
第11回	31-33	臨床学・実技	頭痛について・対処方法			
第12回	34-36	臨床学・実技	腰痛について・対処方法			
第13回	37-39	臨床学・実技	肩こりについて・対処方法			
第14回	40-42	期末テスト	期末テスト			
第15回	43-45	振り返り	前期振り返り			
初回持ち物	筆記用具・服装はギャルソン・髪が束ねること・アクセサリなし					
成績評価方法	・出席率	定期試験		筆記試験		
	・定期試験や小テスト		○	実技試験		
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右合計点)	出席率	定期試験		平常点		
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	ボディリラクゼーション			クラス名	Q2C	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	3 単位	後期	3 単位	2年合計単位	6 単位
担当講師	葛巻 健太郎					
	実務経験	有	実務経験15年。現場経験をもとに就職後に通用する確かな技術と知識を身につけていただけるよう指導する。			
目的及び概要	手指を用いて「なでる」「押す」などの手法で首、肩、腰などの凝りや筋肉の硬直をほぐし、血行を良くする技術を学びます。 血行を良くすることで心と体の疲労を改善していく手技を習得しお客様に披露できる技術と知識を学んでいきます。					
到達目標	サロン運営にて、お客様に提供できる知識と技術を学んでいきます。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1-3	ヘッド小顔マッサージ	手順・実技			
第2回	4-6	ヘッド小顔マッサージ	手順・実技			
第3回	7-9	ヘッド小顔マッサージ	手順・実技			
第4回	10-12	ヘッド小顔マッサージ	手順・実技			
第5回	13-15	骨盤矯正	骨盤ベルトの巻き方・手順・実技			
第6回	16-18	骨盤矯正	手順・実技			
第7回	19-21	骨盤矯正	手順・実技			
第8回	22-24	骨盤矯正	手順・実技			
第9回	25-27	骨盤矯正	手順・実技			
第10回	28-30	骨盤矯正	手順・実技			
第11回	31-33	臨床実技	座骨神経痛について・対処方法			
第12回	34-36	臨床実技	ぎっくり腰について・対処方法			
第13回	37-39	臨床実技	骨盤の歪みについて・対処方法			
第14回	40-42	期末テスト	期末テスト			
第15回	43-45	振り返り	後期振り返り			
初回持ち物	筆記用具・服装はギャルソン・髪が束ねること・アクセサリーなし					
成績評価方法	・出席率	定期試験		筆記試験		
	・定期試験や小テスト		○	実技試験		
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	リラクゼーションサロン			クラス名	Q2C	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	6単位	後期	6単位	2年合計単位	12単位
担当講師	有村 直美・鮎川 静菜					
	実務経験	有	エステティシャン・セラピストの経験をもとに卒業後、即戦力となる様、技術と知識・カウンセリング力や接客接客マナーの応用を指導する事ができる。			
目的及び概要	学内サロン運営を目標に、様々な技術習得をしていき、接客スキルを磨きます。定期的に一般のお客様をお呼びし、運営を通して技術力と接客力の向上を目指します。					
到達目標	サロン運営の成功・実践力をつける・接客カスルの向上					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	前期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1-6	サロン運営について	サロン運営/カウンセリング/サンクスレター/接客の流れについて			
第2回	7-12	カウンセリング	接客練習			
第3回	13-18	役割決め/内装作成	内装や内容について			
第4回	19-24		内装について/作成物			
第5回	25-30		資料作成/マニュアル作成			
第6回	31-36	技術練習	技術練習			
第7回	37-42		本番同様接客から施術練習			
第8回	43-48	リハーサル	リハーサル			
第9回	49-54	最終調整	本番に向けて最終調整			
第10回	55-60	サロン運営本番	サロン運営本番①			
第11回	61-66		サロン運営本番②			
第12回	67-72	振り返り/反省	サロン運営本番③			
第13回	73-78	サロン運営本番	反省・サンクスレター作成・次回の最終調整			
第14回	79-84		事前練習			
第15回	85-90	前期反省・サンクスレター	サロン運営本番④			
初回持ち物	筆記用具/ノートやルーズリーフなど記入・保管できるメモ用紙 ※初回は私服可。					
成績評価方法	・出席率	定期試験		筆記試験		
	・定期試験や小テスト		○	実技試験		
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	リラクゼーションサロン			クラス名	Q2C	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	6単位	後期	6単位	2年合計単位	12単位
担当講師	有村 直美 ・ 鮎川 静菜					
	実務経験	有	エステティシャン・セラピストの経験をもとに卒業後、即戦力となる様、技術と知識・カウンセリング力や接客接遇マナーの応用を指導する事ができる。			
目的及び概要	前期同様、一般のお客様に技術提供を行います。 前期で学んだ経験を活かし運営を通して技術力の向上と接客力の向上を目指すと共に入社後の即戦力となる様1日の働きの理解と習得を目指します。					
到達目標	リラクゼーションサロン運営の成功、実践力の向上(接客スキルの向上)					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1-6	スケジュール確認打ち合わせ	サロン運営について・各担当を決定する・シフト作成			
第2回	7-12	サロン運営準備 技術向上	各担当に分かれて作成物準備 内容共有・技術練習			
第3回	13-18					
第4回	19-24					
第5回	25-30	技術練習	技術練習			
第6回	31-36	リハーサル	リハーサル			
第7回	37-42					
第8回	43-48	最終練習	最終調整			
第9回	49-54	サロン運営本番	サロン運営本番①			
第10回	55-60		サロン運営本番②			
第11回	61-66	サロン運営本番	反省・サンクスレター・カルテまとめ			
第12回	67-72	調整日	練習日			
第13回	73-78	サロン運営本番	サロン運営本番④			
第14回	79-84		サロン運営本番⑤			
第15回	85-90	まとめ	サンクスレター・カルテ作成・お楽しみ授業			
初回持ち物	【持ち物】 前期サロン運営資料・USB・筆記用具 【服装】 初回のみ私服					
成績評価方法	・出席率	定期試験	○	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			実技試験		
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右合計点)	出席率	定期試験		平常点		
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	アロマセラピー			クラス名	Q2C	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	2 単位	後期	2 単位	2年合計単位	4 単位
担当講師	安齋孝子					
	実務経験	有	アロマコーディネーター協会認定加盟校講師・同時にサロン経営15年の経験をもとにセラピストとして必要な知識、接客のポイントを現場のニーズに沿って指導する。			
目的及び概要	体感→理解へと導きます。アロマ資格は既に取得している為、随時基礎知識の再確認とテキストにはない新しい香りについて探求します。将来起こり得るであろうケースも考慮し、アロマカウンセリングスキルの向上やブレンドセレクトの練習。2年後期のレクチャー試験に備え自主的に発表する機会を数回行い、クラフトの種類も(グループワークで)アレンジするなど、クリエイティブな質の向上も目指します。					
到達目標	代替療法の知識を増やして、アロマ初心者(クライアント様等)に向け自分の言葉で完結にお伝えできる人になる。アロマ(カラー)セラピーを通してより良いコミュニケーションのスキルを身につけます。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	1年で使用したテキスト2冊					
<授業計画>	前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1・2	香りプロジェクト	構内アロマ制作 グループワーク			
第2回	3・4	香りの探究①	各抽出部から考察した精油の可能性 グループワーク			
第3回	5・6	香りの探究②	グループ発表			
第4回	7・8	アロマホームケア	症状別精油の選択と使用方法①			
第5回	9・10	サロン運営対策①	アロマ・カラーセラピー復習			
第6回	11・12	サロン運営対策②	復習と実践			
第7回	13・14	サロン運営対策③	グループ別にロープレ			
第8回	15・16	ブレンドアレンジ	心身の状態を考慮したアロマを選び相手の化粧水を作成			
第9回	17・28	クラフト作成	種類と作成方法 アロマストーン			
第10回	29・20	香りから受け取る印象	芳香剤・柔軟剤等 世代別に考察する(個人・企業)			
第11回	21・22	個人サロンについて	オリジナリティー豊かなアロマブレンド&サロンメニューの構築			
第12回	23・24	伝える力を養う	気になる・役に立った精油についてまとめる・発表準備			
第13回	25・26	レクチャー実施	気になる・役に立った精油についての個人発表			
第14回	27・28	期末試験	香りの種類を問う&筆記試験			
第15回	29・30	返却	フィードバック及び後期の授業について			
初回持ち物	1年次の指定テキスト2冊 B5サイズノート(1年次の続きでよい) 筆記用具					
成績評価方法	・出席率	定期試験	○	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			実技試験		
	・授業参加意欲		○	課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)	出席率	定期試験		平常点		
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	アロマセラピー			クラス名	Q2C	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	2 単位	後期	2 単位	2年合計単位	4 単位
担当講師	安齋孝子					
	実務経験	有	アロマコーディネーター協会認定加盟校講師・同時にサロン経営15年の経験をもとにセラピストとして必要な知識、接客のポイントを現場のニーズに沿って指導する。			
目的及び概要	体感→理解へと導きます。アロマ資格は既に取得している為、随時基礎知識の再確認とテキストにはない新しい香りについて探求します。将来起り得るであろうケースも考慮し、アロマカウンセリングスキルの向上やブレンドセレクトの練習。2年後期のレクチャー試験に備え自主的に発表する機会を数回行い、クラフトの種類も(グループワークで)アレンジするなど、クリエイティブな質の向上も目指します。					
到達目標	代替療法の知識を増やして、アロマ初心者(クライアント様等)に向け自分の言葉で完結にお伝えできる人になる。アロマ(カラー)セラピーを通してより良いコミュニケーションのスキルを身につけます。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	1年で使用したテキスト2冊					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1・2	香りの歴史①	古人の香り・香道・時代別の考察			
第2回	3・4	香りの歴史②	グループ発表			
第3回	5・6	クラフト① 小テスト(a)	ハーブボール作成 復習小テスト(1回目)			
第4回	7・8	嗅覚と色彩心理・ブレンドのご提案	香りを色や言葉でより分かりやすく表現			
第5回	9・10	カウンセリングスキル	カウンセリングとトリートメントオイルのご提案			
第6回	11・12	アロマトリートメントの体験	リラクゼーション系トリートメント実技(BTT技術・デコルテ&頭部)			
第7回	13・14	肩こりについて講義と実習	理論とオリジナル手技の実施			
第8回	15・16	クラフト① 小テスト(a)	アイピロー作成			
第9回	17・28	ケモタイプの紹介 クラフト③小テスト(b)	リップクリーム作成 復習小テスト(2回目)			
第10回	29・20	アロマの感染症対策について	自分のカラダは自分で守るエビデンスに基づくアロマアプローチ法			
第11回	21・22	クラフト自主制作について	作成提案、基材計算、手順の確認			
第12回	23・24	自由課題(クラフト)	自由課題の作成・復習小テスト(c)(3回目)			
第13回	25・26	後期試験	個人レクチャー(実技試験)			
第14回	27・28	後期試験	個人レクチャー(実技試験)			
第15回	29・30	試験予備日	個人レクチャー(実技試験)			
初回持ち物	アロマテキスト2冊・ノート(B5サイズ)※ルーズリーフNG ※第10回目終了後ノート提出					
成績評価方法	・出席率	定期試験	○	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			実技試験		
	・授業参加意欲		○	課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)	出席率	定期試験		平常点		
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	リフレクソロジー			クラス名	Q2C	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	4 単位	後期	4 単位	2年合計単位	8 単位
担当講師	鈴木瞳					
	実務経験	有	日本ヒーリングリラクゼーション協会【JHRS】認定リフレクソロジー・プロライセンス実技士。実務経験を活かしてお客様にあった施術計画及び実践ができるセラピストを育てる。			
目的及び概要	リフレクソロジーの基礎理論からプロのリフレクソロジストとして通用する技術と知識を学びます。日本ヒーリングリラクゼーション協会【JHRS】主催のリフレクソロジー・プロライセンス実技士資格試験の内容に対応した講座を学びます。人の心や体の状態、その人を取り巻く環境にも目を向けることのできるリフレクソロジーの技術を習得し、自然治癒力を高めるサポートを体感し、お客様に技術提供できるまでを目標とします。					
到達目標	最終的にお客様に技術披露のできる状態が目標					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	日本ヒーリングリラクゼーション協会指定テキスト/コンディションチェックシート					
<授業計画>	前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1-4	リフレクソロジー 理論1 及び演習1	・リフレクソロジーの定義、基本の指使い ・リラクステクニック(オープニング)			
第2回	5-8	リフレクソロジー 理論2 及び演習2	・足の観察 ・テクニク(横隔膜&ソーラープレクサス~前頸部/後頸部)			
第3回	9-12	リフレクソロジー 理論3 及び演習3	・カウンセリング、コンサルテーション ・テクニク(脳下垂体~歯/歯肉/顔/顎)			
第4回	13-16	リフレクソロジー 理論4 及び演習4	・効果、反応例 ・テクニク(リンパ(頭部/頸部)~バランス)			
第5回	17-20	リフレクソロジー 理論5 及び演習5	・リフレクソロジストとしての心得 ・リラクステクニック(肩のポイント/肩/リンパ(腋窩)~食道/気管/気管支/肺/			
第6回	21-24	リフレクソロジー 理論6 及び演習6	・リフレクソロジーの歴史 ・テクニク(胸部/肋骨/リンパ/肺/上背部~上腹部)			
第7回	25-28	演習7	・禁忌事項 ・テクニク(胆のう~膵臓のポイント/心臓(ポイント/ゾーン)~膵臓のポイント)			
第8回	29-32	リフレクソロジー 理論7 及び演習8	・コンディションチェックシートの充実 ・テクニク(下腹部/小腸~坐骨)			
第9回	33-36	リフレクソロジー 理論8 及び演習9	・衛生管理 ・テクニク(脊椎~直腸/肛門/骨盤)			
第10回	37-40	リフレクソロジー 理論9 及び演習10	・栄養学と食生活 ・テクニク(腎臓/尿管~副腎)			
第11回	41-44	リフレクソロジー 理論10 及び演習11	・アロマセラピーの活用 ・テクニク(子宮/前立腺~股関節/リンパ/肩胛部/骨盤(股間))			
第12回	45-48	リフレクソロジー 理論11 及び演習12	・ハーブティの活用方法 ・テクニク(ブレスト~横隔膜&ソーラープレクサス)			
第13回	49-52	リフレクソロジー 理論12 及び演習13	・ヒーリング音楽の活用 ・リラクステクニック(エンディング)			
第14回	53-56	期末テスト	・期末テスト(筆記/実技)			
第15回	57-60	演習14	・期末テスト返却 ・ケーススタディ(コンサルテーション~足の観察~施術~所見まで行う)			
初回持ち物	服装はビューティープログラム同様、ギャルソン着用です 使用テキスト等は初回時に配布します。エステシート1枚 フェイスタオル1枚					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト			○	実技試験	
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				



シラバス(授業内容)

科目名	リフレクソロジー			クラス名	Q2C	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	4 単位	後期	4 単位	2年合計単位	8 単位
担当講師	鈴木 瞳					
	実務経験	有	日本ヒーリングリラクゼーション協会【JHRS】認定リフレクソロジー・プロライセンス実技士。実務経験を活かしてお客様にあった施術計画及び実践ができるセラピストを育てる。			
目的及び概要	リフレクソロジーの基礎理論からプロのリフレクソロジストとして通用する技術と知識を学びます。日本ヒーリングリラクゼーション協会【JHRS】主催のリフレクソロジー・プロライセンス実技士資格試験の内容に対応した講座を学びます。人の心や体の状態、その人を取り巻く環境にも目を向けることのできるリフレクソロジーの技術を習得し、自然治癒力を高めるサポートを体感し、お客様に技術提供できるまでを目標とします。					
到達目標	最終的にお客様に技術披露のできる状態が目標					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	日本ヒーリングリラクゼーション協会指定テキスト/コンディションチェックシート					
<授業計画>	前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1-4	ハンドリフレクソロジー/オイルトリートメント				
第2回	5-8	キャタピラーウォーク・ラウンドキープ コンディションチェックシートの向上	・統合医療としてのリフレクソロジー ・リフレクソロジー実技の完成度と高める ・不調別リフレクソロジー			
第3回	9-12		・リフレクソロジー実技の完成度と高める			
第4回	13-16		・プロとして必要な生活習慣病の基礎知識(便秘) ・リフレクソロジー実技の完成度と高める			
第5回	17-20		・プロとして必要な生活習慣病の基礎知識(高血圧) ・リフレクソロジー実技の完成度と高める			
第6回	21-24		・プロとして必要な生活習慣病の基礎知識(糖尿病) ・リフレクソロジー実技の完成度と高める			
第7回	25-28		実技演習・クライアントの体調に合わせた施術計画～実践～アドバイスまで			
第8回	29-32		(リフレクソロジストとしての身のこなし・表情なども、認定試験に向けてより全体的に完成度を高める)			
第9回	33-36		(リフレクソロジストとしての身のこなし・表情なども、認定試験に向けてより全体的に完成度を高める)			
第10回	37-40		授業内テスト(学科・実技)			
第11回	41-44		キャタピラーウォーク・ラウンドキープ コンディションチェックシートの向上	認定試験 学科・実技試験対策		
第12回	45-48	認定試験 学科・実技試験対策				
第13回	49-52	認定試験 学科・実技試験対策				
第14回	53-56	認定試験 学科・実技試験対策				
第15回	57-60	認定試験・実技試験				
初回持ち物	実技授業の準備、 日本ヒーリングリラクゼーション協会指定テキスト及びコンディションチェックシート					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト			○	実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上 80点以上
点数249～200点		B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上 60点以上
点数199～150点		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上 40点以上
点数149点以下		D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合			

シラバス(授業内容)

科目名	ヨガピラティス			クラス名	Q2C	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	-	後期	2 単位	2年合計単位	2 単位
担当講師	岩木 浩子					
	実務経験	有	グループ指導の経験を活かして、運動の必要性や楽しさを伝える。			
目的及び概要	ピラティスの基礎的な原理原則とトレーニング原則を統合し、メディカルなコンディショニング要素を目的し実践することで健康を改善することが可能になる。					
到達目標	ピラティスのポーズを体得、解剖学などの会得、基本的な指導方法を学ぶ。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1・2	ハタヨガ	ハタヨガの実践			
第2回	3・4	プラーナヤーマ	呼吸の実践			
第3回	5・6	基本ポジション	モディフィケーション・プログレッション			
第4回	7・8	特別な考慮点	高血圧など			
第5回	9・10	ヴァンヤサ・クラーマ	アーサナなど			
第6回	11・12	ポーズの順番	シーケンスなど			
第7回	13・14	クラスデザイン	クラス設計			
第8回	15・16	指導環境	視覚・言語・身体感覚/触覚・補助、アシストの方法			
第9回	17・28	瞑想	瞑想とは？			
第10回	29・20	サンスクリット語	なぜサンスクリット語を使って指導するのか？			
第11回	21・22	プログラミング	オリジナルプログラム作成			
第12回	23・24	期末試験対策①	キューイング			
第13回	25・26	期末試験対策②	ポーズの練習			
第14回	27・28	期末試験	実技/筆記			
第15回	29・30	期末試験フィードバック	筆記試験返却			
初回持ち物	運動に適した服装・筆記用具・1年生で使用したプリント・プリント用のファイル、水・タオル					
成績評価方法	・出席率	定期試験	○	筆記試験		
	・定期試験や小テスト		○	実技試験		
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)	出席率	定期試験		平常点		
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				